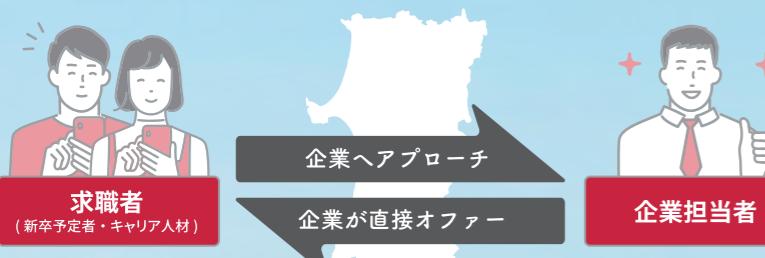


《秋田県内特化型》採用ポータルサイト

キャリピタ AKITA

「待ち」の採用から
「攻め」の採用へ



AKITA

キャリピタAKITAは、県内就職を希望している新卒予定者・キャリア人材が登録する
県内特化型の採用ポータルサイトです。

企業の可能性を広げ、新たな価値を創り出す
「人財」との出会いは、キャリピタAKITAで。

ぐわしくは キャリピタAKITA で検索!
<https://www.caripita-akita.com>

2023年5月31日現在



ビックあきた Vol.503 2023年5月31日発行 編集・発行／公益財団法人 あきた企業活性化センター TEL.018-860-5610 FAX.018-863-2390 本誌は、賛助会員への配布となっております。購読を希望される場合は、上記までお申し込みください



facebook



YouTube
チャンネル

04 センター活用事例

- [HOPDOG BREWING合同会社]
- [アキモク鉄工株式会社]
- [株式会社Kanata factory]

07 主催事業報告

- 08 経営サブリメント
- 10 お知らせ

BIC AKITA

Business Information Center

2023 vol.503

06

[ビックあきた]
公益財団法人
あきた企業活性化センター

経営探訪 [株式会社ホクシン・ムクノローカス]

偏りを持たず、ソベクを分散。
確固たる経営基盤を
築くための努力を。





経営探訪
Management Report
株式会社
ホクシンエレクトロニクス

偏りを持たず、リスクを分散。 確固たる経営基盤を築くための努力を。

同一分野には偏らない
幅広い業種との取引と
自社製品の開発にシフト

秋田市内の住宅街に、4つの工場を構える株式会社ホクシンエレクトロニクスは、今年で創業32年を迎える電気電子部品の製造を行う企業である。リーマンショックのころには業績が悪化したものの、現在は見事に復調。2020年には新工場に本社機能を移し、現在約290名あまりの従業員を抱え、幅広い分野の部品製造を行っている。コロナ禍を経て、堅実な経営を続けている代表の佐藤宗樹さんにお話を伺った。

主に通信機器のアンテナを製造
時代の流れに乗り、好調なスタート

株式会社ホクシンエレクトロニクスは、主に電話などの通信機器のアンテナやスイッチなどの電気電子部品を製造する企業として1991年に設立された。現在の代表・佐藤宗樹さんは父から12年ほど前に受け継いだ2代目だ。設立当初はコードレスホンや海外向け製品のアンテナなどの製造を受注していたが、次第にPHSや携帯電話が普及。時流に乗って業績は好調だった。

「15年ほど前、リーマンショックによって日本の製造業は大打撃を受け、私たちもその影響を受けました。またスマート

フォンが普及し、ほとんどが海外製になるなど、売上が減少する要因に。実は当時、売上全体の65~70%がアンテナや携帯電話部品を占めていて、リスクが大き過ぎたんです」。

リーマンショックで打撃を受けたことで 開発と受注先のバランスを再考

何か打開策が必要だと考えていた佐藤さんは、運良くリーマンショックが起きる少し前から、医療機器の部品開発に着手していた。

「通信機器はトレンドの移り変わりが激しく、半年ほどでモデルチェンジしてしまいます。一方、医療機器のサイクルは緩やかで、経営基盤としては安心材料に繋がります。医療機器メーカーの方にニーズをヒアリングし、秋田高専の先生にもご協力いただきながら、開発を進めました」。

結果として見事に開発は成功。今後は医療分野を柱の事業としていけるよう、開発を継続したいと意気込む。

「また、営業についても多くの企業とのやりとりを積極的に行ってています。おかげで幅広い分野の仕事を受注するようになり、その甲斐あってコロナによる打撃は最小限に抑えることができたと感じています。現在は、ハブ企業となって協力工場を増やす動きをしています。工場の面積をこれ以上増やすのも現実的ではないと思っていますし、一社だけで利益を囲い込む時代ではないですからね」。



①広々とした清潔な休憩室は、プロジェクトの活動で整備された。

②社員から募集し、決まった会社のキャラクターは「うしまるくん」

働く人たちの幸せを大切にしたいから アイデアを出しやすい環境作り

従業員比率は女性のほうが高いが、幹部は男性中心。女性活躍を推進させるため、5年ほど前から女性社員だけで構成される「ホクシン小町」という委員会を発足した。

「委員会は私の直下において、ダイレクトに女性社員の声を拾えるようにしました。休憩室のリニューアルや女性用トイレの改修も、女性を中心としたプロジェクトチームに任せたり。最近は、意見を出してくれるようになってきました」。

また、社員の満足度を数値で測る『幸せデザインサービス』という商工中金のサービスを導入し、各部や全体での数値を公表するなどの取組も行っている。堅実な経営方針、そして環境整備も含め、従業員の環境をより良いものにしたいという佐藤さんの思いは、確実に従業員に届いている。



株式会社
ホクシンエレクトロニクス
代表取締役社長 佐藤 宗樹

〒010-0063
秋田市牛島西1丁目4-10
TEL.018-837-0811 FAX.018-837-0812
<http://www.hokushin-elec.co.jp/>

◎業務内容
各種アンテナ製造、プラスチック成形
【射出成型・注成型】、半導体装置の製造、
液晶露光装置の製造、各種ハーネスFPCの
加工・検査、液晶パックライト用ランプ組立、
超音波流量計の開発、その他設計開発、
構内請負作業(物流関係)

設備投資支援

▽
HOPDOG
BREWING
合同会社

産地を盛り上げ、守りたい。
消費者と産地を繋げる
クラフトビール醸造所を設立



地元産の原材料を使用した
クラフトビールとハードサイダー(シードル)を
中心に製造予定

地元に根づいた場所を遺したい

2022年10月、秋田市で設立されたHOPDOG BREWING合同会社。代表の長谷川信さんは、長年秋田市の企業でビール醸造に携わってきた経歴を持つ。長谷川さんが醸造所として選んだのは、85年もの間地域住民に愛され、惜しまれながら2021年2月に廃業した銭湯「星の湯」の跡地だった。なぜ、その場所を選んだのか。

「建物って壊されて無くなってしまうと、あれここ前なんだったかな?と思いつかなくなってしましますよね。一般的に醸造所は新設することが多いのですが、今回設立にあたって場所を探していたところ、星の湯がテナント募集しているのを見かけました。調べてみると、地元の方に本当に愛されていた銭湯だったことが分かって。秋田は古い建物を壊してしまう事例が多くて、残念だなと思っていたのでこの場所に決めました」。

地元に根づいていた場所を大切にしたい、その思いは今回の醸造所設立に至った経緯とも繋がるものだ。



あえて「星の湯」の看板を残した理由は、ここが何だったかを忘れてほしくないという想いから。



銭湯の面影があちらこちらに残る工場内。
ビールの泡がこんもりとした奥の壁面に目を奪われる。



世界に通用するものを作りたいという想いから、
世界で知られる「秋田犬」をモチーフとしたロゴマーク。

取引のあっせん

▽
アキモク鉄工
株式会社

自社の成り立ちを見つめ
オリジナル製品の開発へ
先人たちの偉業が道を照らす



設計・製造・据付の一貫生産体制。
高い技術で世界に挑む



アキモク鉄工株式会社
代表取締役
花下智之 Hanashita Tomoyuki
〒016-0122
能代市扇田字柏子畠 1-29
TEL:0185-58-3691
<http://www.akimoku-iw.jp/>

ターニングポイントは輸送機コンソ参加

能代市のアキモク鉄工株式会社は1980年に設立した製造メーカー。代表の花下智之さんにお話を伺った。

「弊社の事業は、ほとんどが請負です。事業を継続させるためには、自社製品を開発することが急務であると感じていました。弊社のルーツは1907年に設立された『秋田木材株式会社』です。まずは自社の歴史を紐解くことから始めようと思ったところ、幸いにも設立からの経緯が書物として残していました。そこには顧客の需要増に対応するため、必要な電力を自社で賄うために発電事業を展開していたこと、戦時に海軍の需要工場となり、ゼロ戦の部品製造を行っていたことが記されていたんです。地域に住む高齢の方の中にはゼロ戦のことを覚えている方もいました」。

ちょうどそのころ、秋田県と県内の民間企業が協力して秋田輸送機コンソーシアムが設立され、花下さんはすぐに参加を決意したという。

過去が照らした、明るい未来への道

秋田輸送機コンソーシアムを通じて能代のベンチャー企業と繋がり、ファインパブル産業と出会ったことで、自社製品「ハイパー・ウォッシャー」の開発に成功。航空機や車両などの塩分洗浄により、機体などの塩害腐食を防止する装置だ。陸上自衛隊の水陸両用車両用に導入されたほか、災害救難隊のヘリコプター洗浄などにも活用されるなど実績ができる。コロナの影響で想定よりも遅くなっているが、海外展開に向けて動きがある。

「活性化センターには、弊社の事業全般を支援してもらっています。最近では関東の企業を紹介していただき、部品製造の取引斡旋をしていただきました。知財や特許の部分などで助けてもらっています」。

「ハイパー・ウォッシャー」は、洋上風力発電の分野でも需要がある可能性があり、風力発電の大手・ベスタス社と検討を行っている。かつて自社で発電事業を行っていたという事実を考えれば、必然の流れかもしれない。



秋田輸送機コンソーシアムに参加することで開発に至った自社製品「ハイパー・ウォッシャー」。



鉄構工場の様子。溶接の作業が行われている。
ここでは大きな橋梁の部品などが製造されている。



事務所では機械の設計を担当する社員も。
社内は明るく、風通しの良い雰囲気だ。

▶活用事例

取引のあっせん

県内のものづくり企業や取引拡大のため、首都圏および東北地区担当のアドバイザーによる発注案件の開拓や取引あっせんを通じてマッチング支援を行います。

[お問い合わせ]
取引振興課
TEL:018-860-5623

知財の
総合支援窓口
株式会社
Kanata factory

秋田杉の端材に付加し、
新しいアイデアを
自社オリジナル商品を開発



オンライン×リアルで
能代が誇る「木」の商品を
発信中!



移住者目線で始めたポータルサイト運営

能代市でWebサイト制作とWebの運営、広告のコンサルタント、加えて自社で能代地域の情報サイト「能代ポータル」の運営やインターネットによる通信販売事業を行う株式会社Kanata factory。代表の金沢佑紀さんは、兵庫県神戸市の出身。2020年1月に能代に家族で移住した。

「雪国での暮らしは初めてで、秋田には知人いませんでした。もちろん土地勘もありませんでした。知りたいことがあっても、Webサイトにも情報が少ない。そこで能代山本地域の情報を発信するポータルサイトを作りました。それをきっかけに、Webサイト制作についてのご相談をいただくことが増えたんです。秋田県内にもWebサイト制作を行う企業は多くありますが、検索対策までフォローしているところは少ないように感じます。私は神戸でECサイトの運営をしていた経験を生かし、Webサイトへの集客コンサルも併せて行っています。」



3月にオープンしたばかりの能代駅前の実店舗。



アバター要素を入れ込むため、
イラストレーターに提供してもらったバージョンは1,000を超える。



店内にはさまざまな木工品が陳列されている。
すべて金沢さんがセレクトした全国の木工品だ。

一人で悩むより、相談すれば明確になる

自社ECサイト「Mokutopia」では、能代の木工品をはじめ、全国各地の商品を取り扱っている。

「ただ、仕入れ商品だけでは利益は少ない。そこでオリジナル商品を開発したいと妻と相談していました。あるイベントで活性化センターと繋がりができ、商品開発のご相談をすることになりました。」

秋田の組細工からヒントを得て、杉の端材を使った自社商品『nicoco』は、オリジナルの木製マスコット作成サービス。活性化センターに相談してから、約半年程度で商品化に繋げることができたという。

「ほんやりした構想が相談することで鮮明になり、具体的なアイデアを提案していただけた。商標取得の際もアドバイスをいただいたりと、本当に良い制度で助かっています。」

2023年3月にはJR能代駅前に「Uki by Mokutopia」をオープン。実店舗の展開からも目が離せない。

▶活用事例 知財の 総合支援窓口

特許や商標などの出願や活用に対する相談に対応するために知財総合支援窓口を設置しております。

[お問い合わせ]
知財・デザイン支援課
TEL.018-860-5614

[主催事業報告] 令和5年度版



ワンストップ巡回相談事業

県内の各地域振興局(秋田地域振興局を除く)で定期的に開催し、企業の事業推進・課題解決を迅速に支援します。



もっと身近な存在に、気軽なご相談を。

○開催日時／毎週火曜日10:30～15:00
祝日の場合は次の平日に開催。
(8月15日、12月29日～1月3日を除く)

○開設場所／県内各地域振興局(週替わり)

地域ごとの詳しい開設日時は
QRコードからご覧いただけます。▶▶



○相談内容

経営全般、資金関係、設備関係、技術関係、人材育成、新商品開発、新分野進出、創業など

県内開設場所

鹿角地域振興局	鹿角市花輪字六月田1
北秋田地域振興局	北秋田市鷹巣字東中岱76-1
山本地域振興局	能代市御指南町1-10
由利地域振興局	由利本荘市水林366
仙北地域振興局	大仙市大曲上栄町13-62
平鹿地域振興局	横手市旭川1-3-41
雄勝地域振興局	湯沢市千石町2-1-10



相談者の声



株式会社鈴木又五郎商店
専務取締役 鈴木 アヒナ 麻由さん

当社では、自社製品として開発した「乳酸菌あきたこまち玄米」の商標登録を進めております。このお米の栽培方法などの手法について保護するために、当初は特許を取るべきかと考えたのですが、ご相談したところ「商標登録」が良いとアドバイスをいただきました。

この商品はコロナ禍でウイルス対策として乳酸菌に注目が集まるようになったことをきっかけに、お米に含まれていると日常的に乳酸菌を摂取できるようになるのではと思ったことから開発を進めました。

今後はドイツでの展示会に出展したいと考えております。今日は海外での商標取得についてのアドバイスもいただけて助かりました。

[お問い合わせ] 総合企画部 総合相談課 TEL.018-860-5610

[主催事業報告] 2023.06 vol.503

経営 サプリ メント

テーマ

海外展開は、
リスクを減らして
成功確率を上げる！



はーとBiz 代表
中小企業診断士(経産省登録)
松館 文子
Matsudate Fumiko

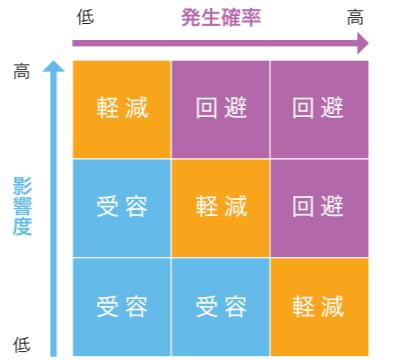
【主な経歴】
JICA国際協力機構パラオ事務所・ミクロネシア事務所・
ベリーズ事務所などに勤務。JICA本部青年海外協力隊
事務局で企業と連携した国際協力を担当する事業を担当して
いた時に中小企業診断士の勉強を開始。2018年退職。
秋田にUターン。2020年に中小企業診断士に登録。
中小企業庁中小企業119専門家、大曲商工会議所専門家、
秋田県商工会連合会専門家、あきた企業活性化センター専門家、
秋田県事業引継ぎ支援センター専門家、秋田県農業経営・就農支援センター専門家、生活衛生営業指導センター専門家などを務める。

01 リスクマトリクスとは

◎日本では人気の商品なのに、海外では売れない
◎現地に工場を作ったがすぐに辞めてしまうなど、日本ではうまくいっても海外ではそうはいかないということが結構あります。

でも、大きな市場がありながら、リスクを理由に海外展開をあきらめては、もったいないですね。こんな時は、リスクマトリクスで考えましょう。

リスクマトリクスは、横軸にリスクの発生確率、縦軸に会社への影響度を置いて、考えられるリスクを置いていくツールです。



よく発生しそうだし、ダメージも大きいと考えられるものは、対応が必要ですが、あまり発生しそうにないし、起こってもすぐに対応できそうなものは、そのままにしておいて「起こったら対応すればいい」と考えるのも一つの決断。

そんな風に、リスクを整理できるのが、リスクマトリクスです。作り方をご説明します。

02 リスクのリストの作成

まず、このような表で、考えられるリスクを上げていきます。一人で行うのではなく、複数の社員で話し合いながら行うと、偏りのないリストができます。

リスク内容	定量分析(対応前)			コスト・リスク対策内容・対応開始日等～	定量分析(対応後)		
	発生確率	影響度	リスクポイント		発生確率	影響度	リスクポイント
円高による為替差損							
スタッフの遅刻							
水害							

海外展開のリスクは大きく3つに分かれます。

- (1)国家テロや、政権交代、通貨の急落や急激なインフレ、宗教的な感情など、その国の政治・経済、社会環境でビジネスに影響を与える「カントリーリスク」
- (2)法律の違い、為替リスク、労働条件の違いなど、海外との取引で生じる「経営リスク」
- (3)地震、洪水などの自然災害や、現場での事故などの「災害・事故リスク」

この3つを頭に入れて、どんなリスクが想定されるかを書いていきます。

ビジネスを展開しようとする国のかントリーリスク、災害・事故リスクの最新情報は、外務省の「海外安全ホームページ」(<https://www.anzen.mofa.go.jp/>)で調べることができます。QRコードをページ下部に記載していますのでご活用ください。

03 リスクマトリクスの作成

リストアップが終わったら、リスクマトリクスを作成します。縦軸に影響度、横軸に発生確率でしたね。そして、リスクを数値化してリスクポイントを設定することで、リスクの重要度が見える化します。

仮に横軸のリスクの発生確率や縦軸の会社への影響度は、小が1、中が2、大が3とします。発生確率が2で、会社の運営への影響度が3の場合は、 $2 \times 3 = 6$ で、リスクポイントは6になります。

このようにして先ほどのリストに発生確率や影響度、リスクポイントを入れていきます。リスクポイントが高いものは、「回避」や「軽減」の対策を行いますが、リスクポイントが低いものは「受容」、つまり放置です。

[対策の検討]

ここでリスクポイントが高いものの対策は、

- (1)リスクを予防するにはどうするか
 - (2)リスクが発生したらどうするか
- の2つを考えます。

例えば、海外展開を行った国で水害が起こる場合、「保険に入る」という対策をとったら、発生確率は変わりませんが、会社への影響度は下がります。水害のリスクは、対策を取ることで6から4に減らせました。

リスク内容	定量分析(対応前)			コスト・リスク対策内容・対応開始日等～	定量分析(対応後)		
	発生確率	影響度	リスクポイント		発生確率	影響度	リスクポイント
円高による為替差損	3	3	9	為替予約する	3	1	3
スタッフの遅刻	2	1	2				
水害	2	3	6	保険を掛ける	2	2	4

経営リスクについては、日本弁護士連合会が、海外展開支援機関と連携して相手国の企業と契約書のチェックなどの支援を行っています。

[日弁連]

中小企業の国際業務支援事業 ►



JICAの中小企業・SDGsビジネス支援事業

リスクを減らす対策を考えるのに一番いいのは実際に現地で調査してみることです。

もし、国際協力につながるような事業であれば、JICA国際協力機構の中小企業・SDGsビジネス支援事業が活用できます。

現地調査のための飛行機代からホテル代、現地でのタクシーや上限1000万円が補助され、海外展開に詳しいコンサルタントが伴走支援してくれます。

実際にJICAの支援策を活用して

インドネシアに進出した宮城県の会社の事例 ►



事前準備を整えて、リスクを把握したうえで海外展開することで、成功確率は格段に上がります。今回紹介したもの以外でも海外展開に悩んでいる方は、お近くの支援機関へお気軽にご相談ください。

海外展開で
役立つサイト

[東京商工会議所]
海外ビジネスハンドブック



[外務省]
海外安全HP



[JICA]
中小企業・SDGs
ビジネス支援事業



[JBIC]
投資金融ページ



[JETRO]
海外展開支援



令和5年度

応援ファンド事業 助成金 募集開始



事業名	助成対象事業	助成対象経費	事前相談締切
あきた農商工応援ファンド	中小企業者等と農林漁業者が連携して行う新商品の開発や販路開拓 等	○専門家謝金○旅費○リース・レンタル料○試作費○委託費○検査・試験・分析費○共同研究費○産業財産権等取得費○消耗品費○印刷製本費○広告費○通信運搬費○展示会等出展料○雑務費○研修・人材育成費○会場借料	6月29日(木)
あきた中小企業みらい応援ファンド	中小企業者と県内大学・公設試が連携して行う研究開発・新商品開発 等	○原材料および副資材費○構築物費○研究開発のみに用いる機械装置又は工具器具費○外注加工費○技術情報取得費○その他必要と認められる経費	7月5日(水)

詳しくは、センターHPをご覧ください。
事前相談申込様式もHPからダウンロードできます。

あきた農商工応援ファンド

あきた中小企業みらい応援ファンド

[お問い合わせ・申請先] 設備・研究推進課 TEL.018-860-5702 FAX.018-860-5612 E-Mail:setsubi-ken@bic-akita.or.jp

外国出願 補助金

募集中

特許・意匠・商標の外国出願に
係る経費の一部を助成します。



募集期間 [第1回] 募集中:締め切りは6月23日(金)まで
[第2回] 第1回公募の採択数・内容によって募集の有無を決定

対象 秋田県内に事業所を有し、自ら出願人となり、
外国特許庁へ特許等を出願する中小企業者

助成対象経費 外国特許庁への出願に要する経費、現地代理人や国内代理人、翻訳費用に要する経費等
※詳細は募集要項をご確認の上、ご相談ください。

助成率 助成対象経費の2分の1以内
※助成対象者以外の方との共有に係る特許等である場合、持分比率に応じた経費が対象となります。

1出願あたりの上限額 特許:上限150万円、意匠:上限60万円、商標:上限60万円
※1企業あたりの助成上限額は270万円

[お問い合わせ・申請先] 知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614 FAX.018-863-2390

▶詳しくは、センターHPをご覧ください。 <https://www.bic-akita.or.jp/support/51.html>

あきた 食品事業 マネジメント力 講座



会場 秋田県生涯学習センター(秋田市山王中島町1-1)

時間 10:00~12:00 / 13:00~16:00

対象者 県内の食品事業者、食品機械製造事業者、食品事業者と連携したい事業者 等

※講座は1日(午前/午後)で2講座を行います。講座テーマは変更になる場合があります。

受講料
無料

各テーマ
20名程度

講座内容 2つのコースで合計18講座を用意しました。ふるって御参加ください。

1 マーケティング・販売戦略 (商品の企画開発や営業担当者向け)

○マーケティング4Pと6W3H ○展示商談会の成功のポイント ○食品表示基準 押さえるべきポイント
○事業者間連携 ○新規需要を獲得するための新商品開発の留意点 ほか

2 製造マネジメント (製造現場の生産管理担当者向け)

○工場運営の基本とコスト構造の理解 ○品質管理の基本とQC手法 ○食品安全マネジメント
○参加各社の改善事例検討 ○工場の改革プランの策定と生産性の勘どころ ほか

◆ 特別講座[デジタル技術活用] 11/8(水)開催予定

昨年度の受講者の声

○具体的な話が多く、すぐに実践できる内容で分かりやすく、満足できる内容だった。
○初めて聞く内容もあったが、丁寧に説明していただき理解が深まった。
○コスト構造と管理の基本について説明が分かりやすく、よく理解できた。演習を通してアイデアを出す感覚が実感できた。
○食品安全マネジメント全体について知識が深まった。在庫管理、生産管理の分析方法がよく分かった。



主催 秋田県
観光文化スポーツ部 食のあきた推進課 食品工業チーム
TEL.018-860-2224 FAX.018-860-3878
E-mail: shokusan@pref.akita.lg.jp

運営事務局 秋田県中小企業団体中央会
事業振興部 工業振興課
TEL.018-863-8701 FAX.018-865-1009
E-mail: t-ishii@chuokai-akita.jp



お申込はこちらから